

ベラルーシ公開情報とりまとめ

(9月16日～9月22日)

2024年10月1日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

●ルカシェンコ大統領とプシリン自称「ドネツク人民共和国首長」の会談(9月19日)

【ルカシェンコ大統領動静】

●ルカシェンコ大統領とプシリン自称「ドネツク人民共和国首長」の会談

・ルカシェンコ大統領は、自称「ドネツク人民共和国」との協力の原則は、人々のため、平和のためであるとして、ウクライナとも全く同じ原則に基づいて協力する用意がある旨発言。

・また、自称「ドネツク人民共和国」と協力を続けるが、いかなる国際的な規範も我々の相互関係を損なうことも決してしないと強調。

(9月19日 大統領府)

【外交】

●欧州議会は、ベラルーシの政治犯の状況に関する決議を採択

・欧州議会は、ベラルーシの政治犯の即時釈放を求めるとともに、ベラルーシ当局に対し、政治犯の状況に関する情報公開を求め、弁護士や家族との面会を認めるよう要求。

・さらに、2020年以降ベラルーシを離れることを余儀なくされ、国外でも迫害に苦しんでいるベラルーシ人が30万人存在するとして、そうしたベラルーシ人に対する懸念を表明。

・ベラルーシの政治犯の困難な状況に関する決議は、549票の賛成で採択された。反対は21票、棄権は37票であった。

(9月19日 欧州議会)

●リトアニアは、ベラルーシの国営メディアの Youtube チャンネルをブロック

・リトアニア・ラジオ・テレビ委員会の要請によるもので、同国では、国営「ベラルーシ第1チャンネル」他、18の国営メディアのアカウントがブロックされている。

(9月18日 LRT.lt)

【内政】

●ベラルーシと米国の国籍を持つ弁護士である政治犯に関するドキュメンタリー映像の公開

・9月19日、国営「ベラルーシ第1チャンネル」は、政治犯である弁護士の男性の特別番組を公開。男性は、ベラルーシと米国の二重国籍を有しており、「憲法に反する手段で国家権力を奪取することを目的とした陰謀」などの罪で、2022年9月に11年の自由剥奪刑の判決を下されていた。

・男性は番組内で、3年半前、米国から特務機関関係者と思われる3人の人物が米国政府に協力するよう要求してきたとし、「3年半前に自分がしようとしたことは間違っていた」、「改めて自分の罪を認め、ルカシェンコに謝罪する。自分に対して恩赦を下し、米国の家族の元に戻る機会を与えてほしい」などと発言する様子が放送された。

・これを受けて、9月20日、カウフマン駐ベラルーシ・米国臨時代理大使は声明を発表し、「ベラルーシ政権がプロパガンダ目的で、拘束された米国国民を国営メディアに登場させたことを強く非難する。番組内で語られた根拠のない発言を否定する。米国国民はベラルーシに渡航すべきではなく、ベラルーシにいる者は直ちに出国すべきであるという、米国政府の長年の勧告を繰り返す」と述べた。

(9月19日 国営ベルタ通信、20日「ボジルク」、在ベラルーシ米国大使館)

●9月20日現在の政治犯の数は1,324人

(9月20日 人権団体「ヴァスナ(春)」)

●ベラルーシから欧州への不法越境の試み

(9月16日～9月22日)

- ・リトアニア国境警備局は少なくとも38人を阻止。
- ・ラトビア国境警備隊は少なくとも93人を阻止。
- ・ポーランド国境警備隊は少なくとも895人を阻止。

(9月17日～9月23日「ポジルク」)

●国民危機管理対策局は、ウクライナの占領地域からの子どもの連れ去りに関するデータを発表

- ・国民危機管理対策局(ラトウシコ元文化大臣陣営)は、ウクライナの占領地域から、計3,500人を超える子どもがベラルーシに連れ去られているとのデータを発表。

(9月20日「ポジルク」)

(了)

【治安・犯罪】

●ラトビア人が違法薬物をベラルーシに輸入しようとしたとして拘束

- ・9月18日、ベラルーシ税関は、ラトビア人の男性が、違法薬物を携帯電話のケースに隠してベラルーシに入国しようとしたため拘束されたと発表。

- ・9月11日、男性は連絡がつかなくなり、12日に親族が、男性の拘束を電話で知らされていた。

- ・ラトビア外務省によれば、ベラルーシで拘束されたラトビア人は、2022年は13人、2023年は15人、2024年は11人。

(9月18日 国営ベルタ通信、Pozirk)

●「過激主義資料」としてアクセス制限されているインターネット上の資料は5,000件以上

- ・マルコフ情報通信相は、ベラルーシで「過激主義資料」と認定されているインターネット上の資料が5,000件以上存在する旨指摘。

- ・上記を含め、アクセスが制限されているインターネット上の資料は約1万4,000件にのぼる。

(9月20日 国営ベルタ通信)

【民主勢力の動き】

●チハノフスカヤ民主勢力代表の動向

- ・9月16日から17日にかけて、ワルシャワにて開催されたNATO加盟国国会議員会議にて、チハノフスカヤ氏とラトウシコ元文化大臣(「統一移行内閣」副首班)が演説。チハノフスカヤ氏はNATOに対して、国の独立と国民の自由のために戦っているベラルーシの民主化運動を支援するよう呼びかけ、ベラルーシの変革と欧州全体の安全保障が相互に関連している旨強調。

(9月24日 チハノフスカヤ氏公式サイト)